

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスどれみ		令和8年 1月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		基準を満たしたスペースを確保しています。また、障がいに応じて環境調整しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		定員10名に対して1日6～7名程度の職員で運営しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	児童への情報伝達の配慮を行い支援をしています。	施設のバリアフリー化は構造上出来ない箇所もあります。危険箇所はその都度、修正できる場所は修正しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		活動内容に合わせた部屋ごとにしているのかを明確にしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		状況に応じた対応をおこなっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	ICTの活用、支援の改善策等、職員が同じ目標に向かって行えるよう情報共有を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	職員会議にて報告、振り返りを行う機会を設けています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		常に職員が意見等を言え、実施できることは都度対応しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		第三評価について現状できていません。今後行えるようにしていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		研修等の参加はアンケート等を取り受講したい研修に参加できる仕組みになっている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムは作成しており、HPにも掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		児童、保護者の意見をすり合わせ個別支援計画の作成に取り組んでいます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援に関わる職員の意見を踏まえ支援を行っている。また、児童発達支援管理責任者以外に担当職員を決め行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員会議等を利用して職員全体に説明を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		利用決定時に診断書等の提出を求めています。また、日々の状況を日誌にまとめています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動内容については職員で話し決定しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		平日と休日で支援内容や活動の目的を変えることで、活動プログラムが固定化しないよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		児童の特性、課題等に合わせ個別、集団活動を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼を行い、振り返りを含め連絡事項、報告をし意見を出し合っています。パート職員には、出勤時にその都度、情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		その日に合った支援等を伝えている。難しい場合は、次の日の朝礼で報告をしています。	共通認識を持って発言が増えるとさらに良くなると思う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の支援は日誌に記録をとっています。	意識レベルを揃えていくことでより良い支援に繋がると思う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		自立に向けた本人に合った活動（個別、集団）創作活動、公園など野外での地域交流、余暇の提供を複数組み合わせ行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		おやつは、こちらが決めたものの提供ではなく本人が食べたいものを選択できる機会がある。また、外出や余暇等も子どもたちでやりたい、行きたいところを決めています。	どのような状況で意思決定支援が行えるか職員で共有し支援に繋げたい。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者と児童の担当職員で参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関と密に連絡が取れる体制です。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		送迎時等、学校と情報共有を行っています。保護者をとおして確認していることもあります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	児童発達支援事業所や相談支援員等から情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	現在、卒業生が在籍していないため、行っていないが、卒業する際には情報共有を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		現在行う機会がないが、センターが開催している研修に参加していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	休日活動では公園等へ外出し、不特定多数の人と関わる機会を設けるとともに、子ども食堂や地域の行事へ参加するなど、地域交流の機会を大切にしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		自立支援協議会のなかにある子ども部会に参加している。昨年に続き、部会長を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		自宅送迎時やお迎えをとおして保護者と日々の活動の情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		現在、ペアレントトレーニングを行っていません。家族等が参加できる研修等の案内を行っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っています。質問等があればその都度、丁寧な説明を心がけています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		定期的な面談を行い意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		個別支援計画を保護者と確認しながら行っています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		定期的な面談や送迎時、電話等で都度相談援助を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	現在、保護者会の開催には至っていませんが、親子やきょうだいで参加できるお菓子作りの機会を設けました。	今後は、保護者同士やきょうだい同士の交流につながる場を検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	苦情受付窓口を設置しています。契約時に説明を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		定期的のHPを更新している。春夏秋冬で通信の配信も行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		重要書類は鍵付きの保管庫で適切に管理しています。また、個人情報の取扱いについては契約時に同意を得た上で、必要に応じて関係機関と情報共有を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童への情報伝達については、視覚的な指示等を活用し、分かりやすい支援を行っています。	保護者から口頭でお伝えいただいた内容については、職員間での報告・記録を徹底し、情報の行き違いが生じないよう努めてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等の各種マニュアルを整備し、契約時に保護者への周知・説明を行っています。また、発生を想定した訓練も実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPを策定し、必要な訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	見学时に行うアセスメントにて情報を伺っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時にアレルギーの確認を行いつつ、指示書の提出を求めています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画に基づいて支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画に基づいて支援を行っています。契約時に説明をしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		専用アプリにヒヤリハットを入力するようにしています。入力されたヒヤリハットに対しては定期的に振り返り再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止についての研修会に参加しています。職員で振り返り、虐待防止に努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束の三要件を満たしている場合は保護者へ説明し同意いただいたうえで個別支援計画に記載致します。	